

日本キャリアデザイン学会 2006年度総会

配 付 資 料

日 時 2006年10月28日(土) 16:15-17:15
会 場 立命館大学衣笠キャンパス 存心館

次 第

1. あいさつ
2. 議長選出
3. 役員改選・承認の件(資料別紙)
4. 新役員あいさつ
5. 事業報告(資料1)
6. 事業方針(資料2)
7. 決議事項(資料3)
 - 第1号議案 2005年度決算承認の件
 - 第2号議案 2006年度予算承認の件
 - 第3号議案 規約改正の件
8. 来年度研究大会・総会の件(資料4)

資料1 事業報告

1. 会員の状況

会員は順調に増加し、9月の会員審査終了時において820人・団体となった。

2006年度入会者は159で、全体のほぼ2割となった。

会員の構成は研究者・大学院生計29%、キャリア支援ビジネス（キャリアカウンセラー、人材紹介、キャリア研修ビジネス等）18%、一般企業15%、大学職員11%などとなっている。若手研究者や大学院生が増加し、研究者と実務家の交流の場としての理念どおりの現状であるが、高校の進路指導教員などに輪を広げるとともに、学際的な性格からいろいろな研究室・機関にも働きかけていきたい。

(1) 会員数

2006年9月30日現在

	会員数
正会員	579
正会員(院生)	75
学生会員	30
賛助会員(個人)	94
賛助会員(団体)	42
合計	820

(2) 会員属性別(個人会員のみ)

	会員数	%
研究者(大学教員・研究機関所員等)	168	20%
キャリア支援ビジネス	145	18%
一般企業(人事・教育・キャリア支援部署)	126	15%
大学職員(キャリアセンター等)	89	11%
団体職員・行政関係者	75	9%
大学院生	75	9%
学部学生	30	4%
専門学校教職員	30	4%
小中高教職員	30	4%
個人・その他	10	1%
合計	778	95%

2. 研究会

研究会はいずれもほぼ定員一杯になるという盛況であった。また関西地区における研究会も当初の年2回ぐらいという目標を達成できており盛況である。

3. 会員名簿の発行

念願の会員名簿を6月に発行することができた。

4. 関西地区での活動

本大会を関西地区において開催することができた。また大学コンソーシアム京都からの後援を得ることができた。

5. 研究誌・広報活動

研究誌第二号を9月に発行した。会員向けニュースレター、公開用メールマガジンは順調にそれぞれ月1回、月2回のペースを守って発行している。

6. 関連学会との連携

日本スポーツ経営学会でアスリートのキャリアに関連して事務局長が招かれて講演し、11月には日本キャリア教育学会で共催シンポジウムを行うなど、輪が広がりつつある。

7. 日本学術会議の登録申請

日本学術会議の登録会員としての申請を行った。

8. 研究奨励

研究奨励のためプロジェクト支援を行うこととし、小池理事に研究組織をお願いした。

9. 理事選挙

理事選挙を行い、昨年度大会の決定にのっとりて厳正に実施し、会員選出新理事15名を選出し、それによる会長選出を行い、会長推薦理事の選出を行った。

資料2 事業計画

- 1 学会の財政は、ほぼ安定軌道にのったと考えられるが、今後ともキャリアデザイン研究の活発化のために会員増強に努める。実務家では高校・中学等に輪を広げるとともに、経済団体・労働組合や様々なコミュニティ機関などにも働きかけ、キャリアデザインが世代を超えた共通の課題であることをはっきりさせていきたい。またその学際的な性格からいろいろな学部・学科の研究室・研究機関にも働きかけていきたい。
- 2 研究会はいずれもほぼ定員一杯になるという盛況であるので、会場の確保や多様化（土日にやってほしいというようなニーズに答えることを含む）に努めたい。また関西地区における研究会の成功から、今後他の地区（中京圏その他一定の会員がいるところ）においても研究会を開催したい。また地域支部組織のあり方についても検討を開始したい。
- 3 研究誌の他、実例を豊富に載せたキャリアデザイン広報誌の発行を検討したい。
- 4 キャリアやキャリアデザインに関わる用語や議論の混乱が見られるところから、学会としてキャリア用語辞典やキャリア研究入門書の編集を行ってはどうかという提案があり、これを検討することになっている。
- 5 会員の研究業績目録をはじめとして、キャリア研究文献目録の作成に取り組みたい。
- 6 研究奨励のため、引きつづき研究プロジェクト支援を行うこととし、プロジェクトの公募を行いたい。
- 7 会員の現状把握、また会へのニーズの理解のため、会員アンケート調査を行う。

資料3 決議事項

第1号議案 2005年度決算承認の件

日本キャリアデザイン学会

貸借対照表

平成18年3月31日現在

資産・負債別／科目		平成17年度末	備考	
資産の部	流動資産	普通預金(三菱東京UFJ)	633,612	
		郵便貯金	1,147,742	
		郵便振替	381,000	
		流動資産合計	2,162,354	
	資産合計	2,162,354		
負債の部	流動負債	前受金	315,000	
		未払金	52,500	
		流動負債合計	367,500	
	負債合計	367,500		
正味財産の部		1,794,854		
(うち当期収支差額)		839,857		
負債及正味財産合計		2,162,354		

日本キャリアデザイン学会
平成17年度(2005年度)収支計算書

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

科目別	決算額
I. 収入の部	
会費収入	5,877,500
大会会費収入	2,412,000
研究会参加費収入	184,930
研究誌等販売収入	310,760
受取利息	49
雑収入	53,605
当期収入計(A)	8,838,844
前期繰越資金	896,997
収入合計(B)	9,735,841

科目別	決算額
II. 支出の部	
大会関連支出	4,270,220
雑給	917,000
旅費交通費	27,920
通信費	179,158
諸謝金	575,640
会合・懇親会費	871,430
消耗品費	180,831
印刷代	735,080
会場費	490,689
その他	292,472
業務委託費	720,063
雑給	44,060
旅費交通費	73,320
通信費	248,040
諸謝金	110,000
荷造運賃	2,740
会合費	228,090
消耗品費	274,262
印刷費	1,480,500
支払手数料	382,161
諸会費	90,000
雑費	75,531
当期支出計(C)	7,998,987
当期収支差額(A)-(C)	839,857
次期繰越資金(B)-(C)	1,736,854

監査報告書

日本キャリアデザイン学会
会 長 清成 忠男 殿

当学会の2005年4月1日から2006年3月31日までの収支報告書及び2006年3月31日現在の貸借対照表は、法令に従い当学会の状況を正しく示しているものと認めます。

2006年 6月 25日
公認会計士

平野



第2号議案 2006年度予算承認の件

2006年度日本キャリアデザイン学会予算案

(単位：円)

		2006年度予算	2005年度決算	増減	備考
収入	会費収入	6,200,000	5,877,500	322,500	
	大会会費収入	2,700,000	2,412,000	288,000	
	研究会参加費収入	200,000	184,930	15,070	
	研究誌等販売収入	350,000	310,760	39,240	
	受取利息	100	49	51	
	雑収入	0	53,605	-53,605	
	前期繰越金	1,736,854	896,997	839,857	
	収入合計	11,186,954	9,735,841	1,451,113	
支出	大会関係支出	3,800,000	4,270,220	-470,220	
	業務委託費	1,440,000	720,063	719,937	事務局委託費改訂
	研究助成費	1,000,000	0	1,000,000	研究奨励金新設
	雑給	100,000	44,060	55,940	
	旅費交通費	240,000	73,320	166,680	京都での大会開催
	通信費	500,000	248,040	251,960	理事選挙等
	諸謝金	200,000	110,000	90,000	
	荷造り運賃	10,000	2,740	7,260	
	会合費	300,000	228,090	71,910	
	消耗品費	280,000	274,262	5,738	
	印刷費	2,100,000	1,480,500	619,500	会員名簿発行
	支払手数料	400,000	382,161	17,839	
	諸会費	120,000	90,000	30,000	
	雑費	100,000	75,531	24,469	
	次期繰越金	596,954	1,736,854	-1,139,900	
	支出合計	11,186,954	9,735,841	1,451,113	

第3号議案 規約改正の件

日本キャリアデザイン学会規約

第13条2項（現行）

「役員（役員）の任期は、連続2期、通期4期を超えないものとする」

第13条2項（改正案）

「会長・副会長の任期はそれぞれにおいて連続2期を超えないものとする。理事の任期は連続3期を超えないものとし、これには理事が会長・副会長に選任された場合の期間を含めない。」

資料4 来年度研究大会・総会について

日 程 2007年10月20日(土)・21日(日)

会 場 武蔵野大学

東京都西東京市新町1-1-20

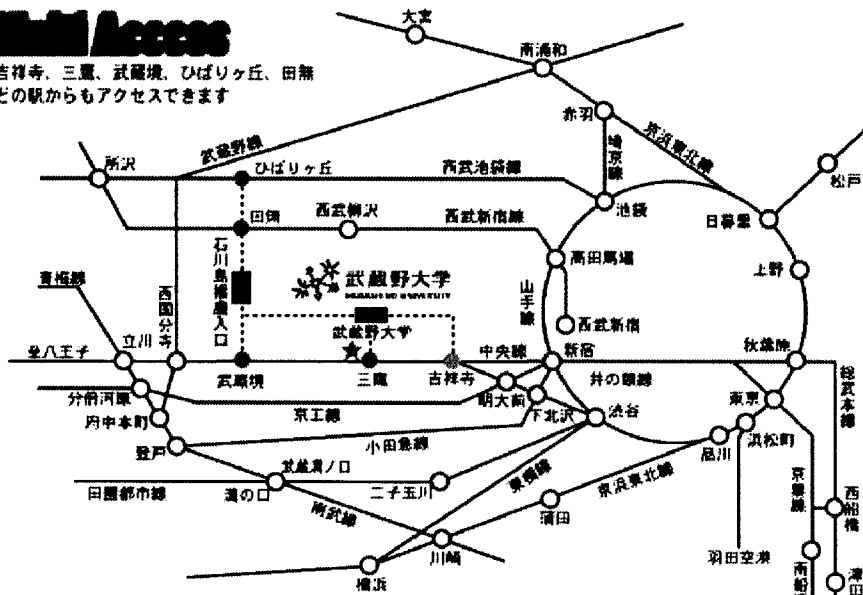
西武新宿線田無駅（西武新宿から20分）下車、徒歩15分



武蔵野大学
MUSASHINO UNIVERSITY

Main Access

吉祥寺、三鷹、武蔵境、ひばりヶ丘、田無
どの駅からもアクセスできます



★ 三鷹サテライトキャンパス(※生選学習講座)：三鷹駅北口前HNビル4・5F

※ ----- はバス路線です